

企業情報を統合・活性化する “データセントリックソリューション DS”

Data Centric Solution DS for Enterprise Data Integration and Dynamization

企業の IT 投資は、個々の各情報システムの部分最適化から情報システムの全体最適化を目指す EA (Enterprise Architecture) に向かっている。全体最適化を可能とする情報システムをもつ企業が、経営の活性化を成し遂げ、高い業績を上げている。ここでは、全体最適化の流れの中、特に企業の核となり将来にわたり企業の重要な資産となるデータに注目し、企業情報を連携・統合・活用するための新機軸として発表したデータセントリックソリューション^(注) DS を紹介する。

1. データセントリックソリューション DS

本ソリューションは、データの統合・分析の分野で巨大企業から中堅企業の 1,000 社以上のお客様で実績のあるデータウェアハウスソリューションとその新製品を核に、データの交換・監視・保護・保存・破棄などのソリューションとコンサルティングサービスを加え、体系化したものである。今後、新サービス、新製品は、本体系をもとに提供していく。

2. コンサルティングサービス

データを中心にした全体最適化を行うためのサービスとしてコンサルティングサービスを発表した。

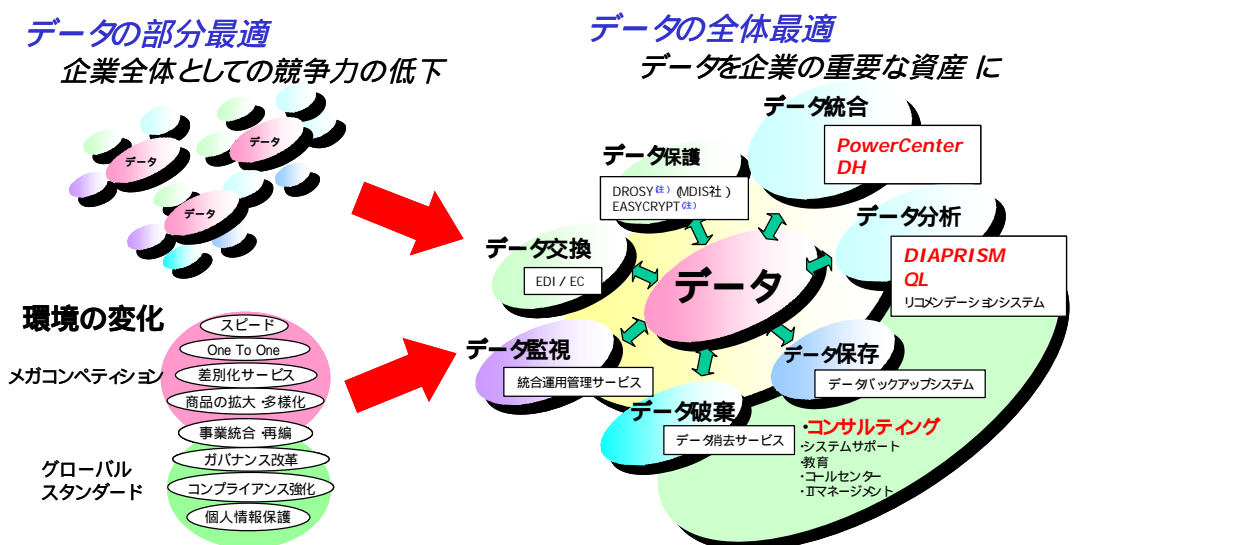
現状のデータの調査・評価、最適なデータ統合・活用を実現するためのシステムアーキテクチャの提案を行う“システム基本要件コンサルティング”、大規模データ統合開発を

成功に導くための支援を行なう“大規模データ統合システムコンサルティング”などのサービスを提供する。今後は、法規制/国際標準などにより高まっている文書/記録管理、開発サイクルを短縮化するコンテンツ管理、企業の持つデータの地図を作成するメタデータ管理を加え、データに関するトータルなコンサルティングを展開していく。

3. データセントリックソリューション DS の基盤新製品

基盤となる新製品として、既に大規模企業を中心に実績のあるデータ分析製品“DIAPRISM^(注)(ダイアプリズム)”、サーバグリッド機能対応による大規模対応化を実現したデータ統合製品“PowerCenter^(注)(パワーセンター)”の二つの既存製品の機能強化に加え、中小規模の情報システムに最適な“データ連携・統合ツール DH”、“Web 対応データ検索・集計ツール QL”の 2 つの新製品を発表した。これにより、大規模システムから、中小規模の情報システムまで、お客様の規模やニーズに応じたデータ分析及びデータ統合システムをシームレスに提供することが可能となった。本製品群は、コンサルティングサービスと協調し、お客様の問題解決のため、企業情報の統合・活用化を推し進めるツールとして活用される。今後、コンサルティングサービスの拡充とあわせ、新製品の投入を行い、さらなるデータセントリックソリューション DS の拡大を進めていく。

データセントリックソリューション DS



データセントリックソリューション DS 体系図

<取り扱い：三菱電機インフォメーションテクノロジー(株) TEL：03-6414-8052>

(注) “データセントリックソリューション”：三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)が商標出願中です。

“DIAPRISM”：三菱電機(株)の登録商標です。

“PowerCenter”：Informatica Corporationの登録商標です。

“DROSY”：三菱電機インフォメーションシステムズ(株)の登録商標です。

“EASYCRYPT”：三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)の登録商標です。